

立教大学キリスト教教育研究所(JICE)主催
非正規滞在外国人と人権 vol.4

2023年2月18日(土)
14:00~16:00

オンライン開催
(Zoom ウェビナー・事前登録制)

2019年度よりはじまった「非正規滞在外国人と人権」公開講演会を今年度も開催します。第1回は入管収容施設の全体像と大村入国管理センターの実態を、第2回はコロナ禍における収容施設の状況を大村と牛久の事例から明らかにし、第3回では、名古屋入管でウイシュマさんが亡くなった事件を中心に、入管収容施設の医療体制について整理しました。入管収容施設では、以前から処遇体制の不備や改善が訴えられてきたにもかかわらず、収容者の死亡事件が繰り返し生じています。

本研究所が開催した過去3回の講演会・シンポジウムにおいても、入管収容施設と非正規滞在外国人をとりまくさまざまな問題点を整理・検討してきましたが、そこで共通して浮かび上がってきたのは、入管の変わらぬ対応でした。

そこで今回は、元入管職員として長年、非正規滞在外国人の審査に関わってきた木下洋一氏を招き、非正規滞在外国人の人権問題を研究する三浦萌華研究員との対談を通して、入管行政の「変わらなさ」について考えます。

木下 洋一氏(未来入管フォーラム代表・元入管職員)

大学卒業後、1989年4月、法務省外局である公安調査庁入庁。2001年、入国管理局(現・出入国在留管理庁)へ異動。以降、2019年3月に退職するまでの18年間、入国審査官として東京局、横浜支局、羽田支局等地方(支)局において、在留審査、上陸審査、違反審判等のいわゆる現場の業務から入管行政の内側を見続けてきた。入管行政に対する疑問から、現役職員であった2017年4月、神奈川大学大学院法学研究科に社会人入学。「出入国管理システムにおける行政裁量の統制に関する一考察」で法学修士学位取得。2019年3月、大学院修了と同時に入国管理局を早期退職、現在、未来入管フォーラム代表を務める。

対談 三浦 萌華(本研究所研究員)

入管行政の 変わらなさを問う —元入管職員の視点から—

要事前登録
申込フォーム



問い合わせ：立教大学キリスト教教育研究所
jice@rikkyo.ac.jp, 03-3985-2661

*事前登録は、QRコードかURL (<http://s.rikkyo.ac.jp/fff359d>) から受け付けております。